THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第7話
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
Artisan's Street
バリアハート 職人街
ガチャ
なんなんだあの男は！
これだから貴族というものは……！
落ち着けマキアス…
落ち着いていられるか！
今の依頼…なんであんな貴族にじゃまされなきゃならないんだ!?
せっかくの結婚指輪用に採ってきた半貴石を……
ん 食べるとは思わなかった
石を依頼してきたベントさん納得いってなさそうでしたね…
ああ 代わりにミラを受け取ったとは言っていたが…
そんなのはあの伯爵からの一方的な取引に違いないだろう!?
マキアスうるさい

「帝国で暮らす以上伯爵クラスの貴族に物申すことなどできない」か……
はぁぁ…
依頼完了とはいえちょっと後味の悪い結果になってしまいましたね…
ガチャッ
フフ どんなドラマに巡りあえるかと見届けさせてもらったがまるでくだらない喜劇だったな
知り合いか？
だれ？
いや…。
私の名はブルブラン男爵

カッ
絵画に彫刻といった美術品 そして美麗な細工の施された 様々な調度や工芸品の数々…
カッー
そ そうですか…
で 俺たちに 何の用で…
およそ芸術と名の つく物であれば どんな物にでも 愛と情熱を傾ける…
自他共に 認める 好事家さ
ザッ
あの宝飾店に 先ほどから 私も居てね… 君たちの活躍を 見させてもらったよ
フ…
店員に聞いたのだが 君たちは士官学院の 生徒で この街へは 実習で来ている そうだね
人生とは思うように いかないからこそ面白く そして美しいもの
ばっ
それに苦悩し もがき苦しむ 君たちは美しい…!
…… 何のことですか
まぁ明日までの 特別実習 せいぜい 頑張って 美しいものを 見せてくれたまえ
カッ
さっ
それでは また会おう
ぽかーーん
……
な…っ
なんっっだ あれは…!!?
フン 今の男── 本当に爵位を 持っているのやら
うるさい。
う〜ん… どことなく 芝居がかった 感じがしましたね……
まるで「貴族」という ものをわざとらしく 演じているような
あぁ それと どうして俺たちの 実習があと一日だと 知ってるんだ?
実習の日数までは さきほどの店員には 話していない はずだが…

フン
あんな怪しい男の事を推測しても仕方ないだろう
手配魔獣の依頼に取り掛かるぞ
そうだな…
行きましょフィーちゃん
まったく…
こんな時期にクロイツェン州が大幅増税なんて…
当主様はよほど俺たち…弱いものいじめがお好きなんだろうよ
オーロックス峡谷道

ドス
ドスン
あれだな…
強そうですね
グルル…
よし
ARCUSの《戦術リンク》でうまく連携を取っていこう
ああ…
行くぞ!!
チャキ
やっ
崩れた！リィン！
隙あり！

よしっ
委員長頼む!!
はいっ
行きます!
ARCUS駆動——
ジャキ
!!
貴様…!?
ここはアーツを
発動させてから
効率よくダメージを
与えるべきだろう
……!
なにぃ…?
よし…
そろそろトドメだ!
ジャキッ
どくがいい
なっ…!?
君というヤツ
は……!!
フン
のろまなのが
悪いのだろう
マキアスさんと
ユーシスさんの
連携が…
全然繋がって
ないね
戦術リンク
以前の問題
はぁ…
はぁ…
……

…ずいぶんしぶとかったな
ええ…でも何とかなりました
……
どういうつもりだ…ユーシス・アルバレア……
どうして僕の邪魔をする…!
戦術リンクが保てないじゃないか…!
こちらの台詞だ……マキアス・レーグニッツ……
戦術リンクの断絶……明らかに貴様の側からだろうが!
あ…!
!!
協力すると言いながら結局腹の底では平民を馬鹿にするそれが貴族の考え方なんだろう!
阿呆が……!
ギリッ
っ……
その決め付けと視野の狭さこそがすべての原因だとなぜ気づかない…!

よせ ふたりとも…!
お 落ち着いて ください!
グルル…
うるさい 君たちには 関係ない!
この際 どちらが 上か徹底的に 思い知らせて やろう!
ふ…
ふたりとも! あぶないっ!!
!?
な なんだ 急に…
ぐっ…
グルルル…
な…!?
あぁ あいつ まだ生きて…

とん
ドンドン
とどめ
っ……やったか
リィンさん……！は早く応急手当を……！
……

おおい…
大丈夫なのか……？
あはは…
大した傷じゃないさ
まさか生きてたとは…
俺も甘かったよ
すまない
その……
…完全に俺たちのせいだな
いや
気にしないでくれ
気づかなかったのは俺のミスでもあるし……
わたしも迂闊
君は……
とにかくふたりに怪我がなくてよかったよ…

ありがとう委員長
――よし
そろそろ出発しよう
今の魔獣
領邦軍の
砦の兵士に
報告する必要が
あるんだろう？
ああ…
くれぐれも
やせ我慢を
するな
ああ
ありがとう
リィンさん
？
スッ…
？
どうした？
いえ
ちょっと
……
ボソッ
（陽光よ 彼を癒せ）
...Lux solis medicuri eum.
ポ
ウ

え……
委員長
今のは…？
その 包帯の
様子を確かめた
だけで……
大丈夫そうですね！
でもしばらくは
動かさないで
くださいね
あ ああ…
……
何か暖かいものが
流れた気がしたけど
そっ
それにしても
フィーちゃん
すごかったですね！
さっきの！
君 確か僕たち
よりも二歳年下
なんだよな？
スタ
スタ
そうだけど
別に
慣れてるだけ
慣れてるって
……
どんな環境で
過ごしたら
そんなのに
慣れるんだ…？

クロイツェン州領邦軍拠点
オーロックス砦
こ
これは……
凄いな……
《オーロックス砦》……帝国東部クロイツェン州の治安を守る『領邦軍』の拠点ですね
ベースは古い砦だけど大規模に改造されてるね
ユーシス?
……

…何でもない
あそこの兵士にとっとと魔獣のことを報告するとしよう
ま…まさかユーシス様が魔獣を退治してくださったとは…!
うわぁ
まさかのユーシスさまぁ
さすがです助かりました!
…フン
領邦軍にまで顔が利くというわけか
ゴトゴトゴト
ゴオオオオ
?
あれは…?
バリアハートからの貨物列車…?
積荷は「戦車」か…それもかなりの重戦車みたいだけど
RFが生産している最新鋭の主力戦車……《アハツェン》だね

おい あれは…？
いやぁ ついに わが領邦軍にも 戦車が配備され 始めましてね！
やはり 装甲車と戦車では 装甲と火力が 段違いですし……
いつまでも 正規軍の連中に 大きな顔をさせて おけませんよ！
いずれは対空防御も 大幅に強化される 予定です！
我らが クロイツェン州の誇り… どうか楽しみに していただけると！
カッ
そうか… 用は済んだ バリアハートへ 戻るぞ
カッ
共和国と国境を 接している クロスベル方面 ならともかく……
どうして 地方の領邦軍なんかに 最新の戦車が 必要になるんだ!?
貴様にも とっくに分かって いるんだろう
これが帝国の “現状”だと
っ……！
『貴族派』と 『革新派』…
四大名門による 貴族連合と 《鉄血宰相》 オズボーンの 対立は水面下で 激化している…
今のがその一端 というわけだ
帝国正規軍は 強大だ 大陸でも 最大級の戦力を 保持していると 言えるだろう
その七割を掌握する 《鉄血宰相》に 貴族連合がどう 対抗するか……
……
だからこそその 領邦軍の 軍備増強 ですか……
……同じ帝国内なのに 不毛すぎるとしか 思えないな

《貴族派》と《革新派》の現実を目の当たりにした
リィン一行の前に突然現れた謎の飛翔体は……?

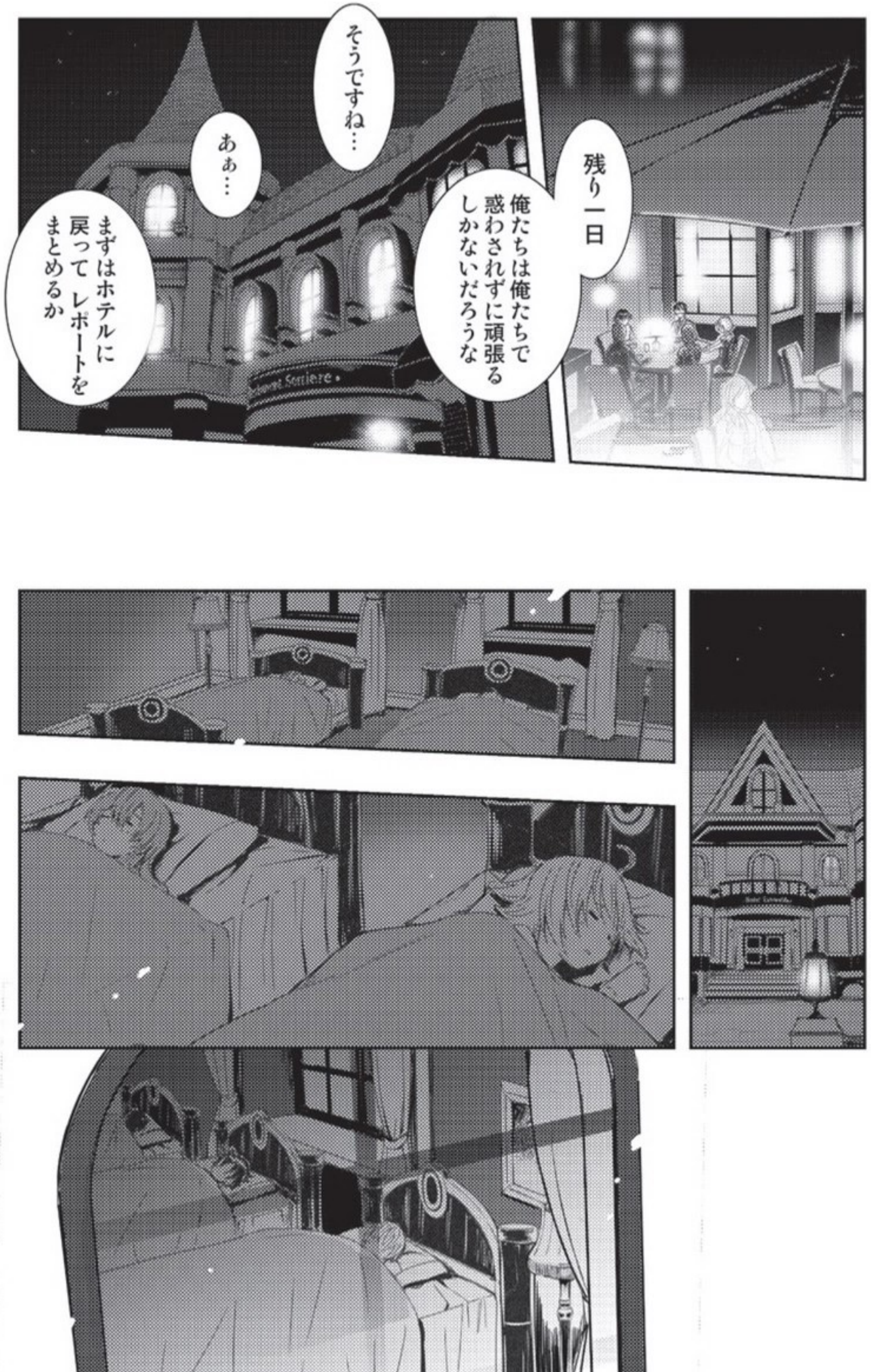
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
センノキセキ
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第8話
先ほどの……なんだったんでしょうね 砦から逃げていったように見えましたが……
飛行船でもないのに空を飛べる物体なんて聞いたことがないぞ？
……こちらには来ていないようだな
ん 来てたら騒ぎになってる
一応 サラ教官への報告には記した方がよさそうですね
キィッ
そうだな…… よし 一度ホテルに戻ろう

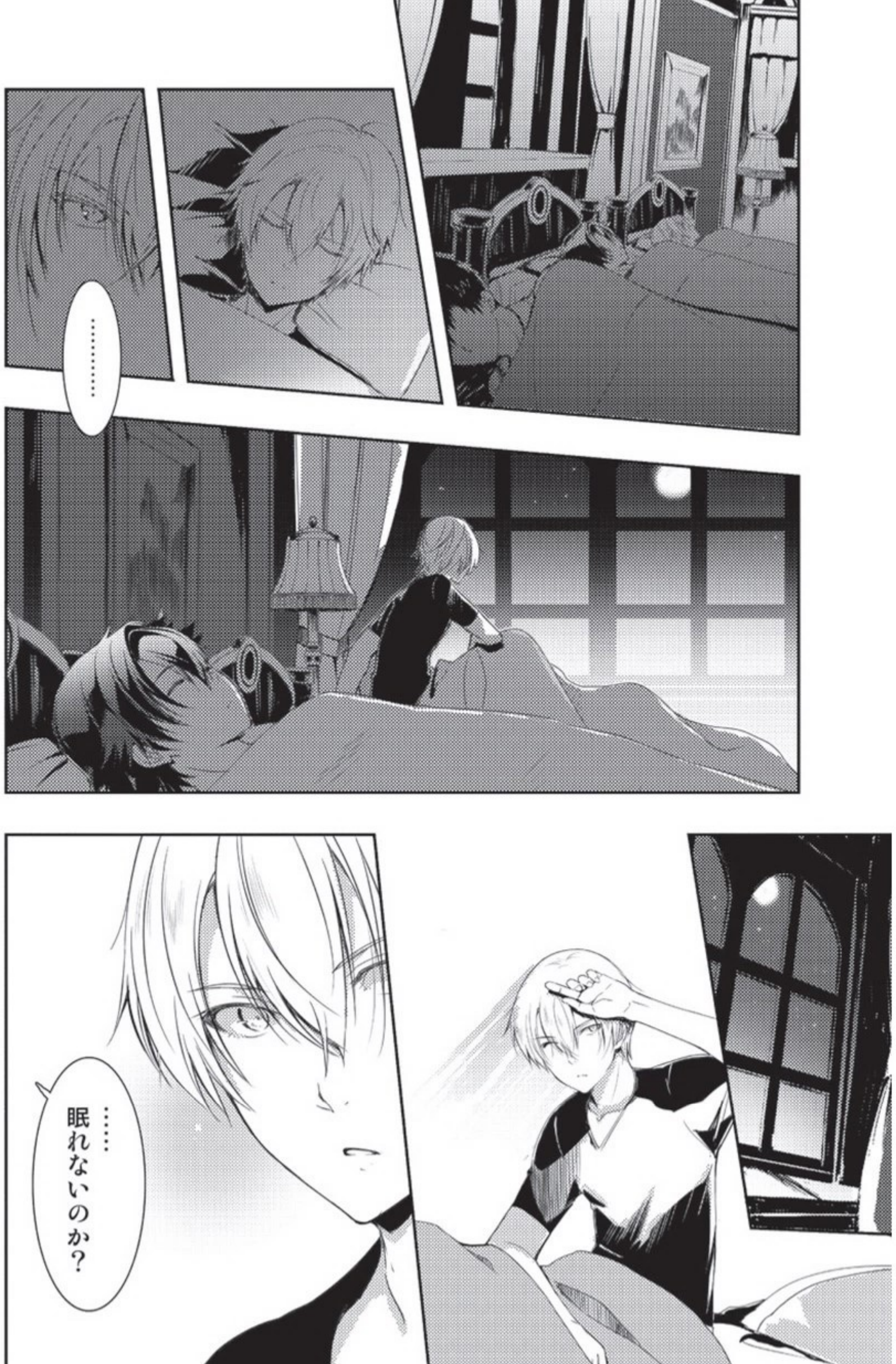
あっ……！
父上……！
え……
なに……!?
挨拶が遅れて申し訳ありません 学院の実習ではありますが ユーシス 戻りまして……
挨拶は無用だ
ルーファスにも言ったが 好きに滞在するがいい ただ アルバレア家の名前には泥を塗らぬこと……
それだけは弁えておくがいい

っ……
…はい その……
学友がおりますので せめて紹介だけでも……
必要あるまい
それと明朝 一度屋敷に 顔を出すように
え……？
わかったな
は はい…
……
なにあれ
フィ フィーちゃん ……！

今のが 《アルバレア》公…
四大名門の 一角にして 絶大な権勢を誇る 大貴族か
…あぁ
そして 信じられぬことに 俺の父でも あるらしい
ユーシス…
……
詮無いことを 言った
腹が減ったな…… いったん部屋に 戻ったら 食事にでも 繰り出すか
ユーシスさん…
お腹 ペコペコ かも

……ふぅ いい風だな
えぇ お料理もとても美味しかったです♪
さすがに貴族の街で繁盛しているレストランだな
ユーシスの行き付けだったたか？
あぁ
昔から良くしてくれてな
ここの味で育ったようなものだ
ふふ…
今回のレポートはちょっと気が楽かもしれません
え？
先月の実習とてもこんな普通の雰囲気じゃなかった
セントアークにて
プァー
今回はかなりマシだと思う
そ そっか
——だが 決して良くもないだろう
えっ…
おそらく今回のB班はベストを尽くせる状況だろう
だが 俺たちA班は今日一日ベストを尽くせたか？
手配魔獣との戦いもそうだが それ以外の依頼についても
カチャ
……
…むぅ
実習は残り一日…… なんとか立て直すしかないだろう
それに…… クロイツェン州での増税に領邦軍の大規模な軍備増強……
俺たち自身の問題意外に難しい状況が見えてきたのも確かだ


残り一日
俺たちは俺たちで惑わされずに頑張るしかないだろうな
そうですね…
あぁ…
まずはホテルに戻って レポートをまとめるか


……
……眠れないのか？

リィン……
フッ…お前の方こそ
まさかベッドが硬くて眠れないと言うんじゃないだろうな
それこそまさか
寮はもちろん実家でだってこんな豪華なベッドで寝てないさ
父の流儀でね 領主は民に寄り添うべし…
いつもそんな風に言っていたよ
そうか……良いご両親に育てられたみたいだな
……ユーシスはその……
お兄さんとは仲が良さそうだったけど
お父さんとは……昔からああなのか？
…あぁ 昔からだ

平民の娘に産ませた子などさして興味がないんだろう
え……

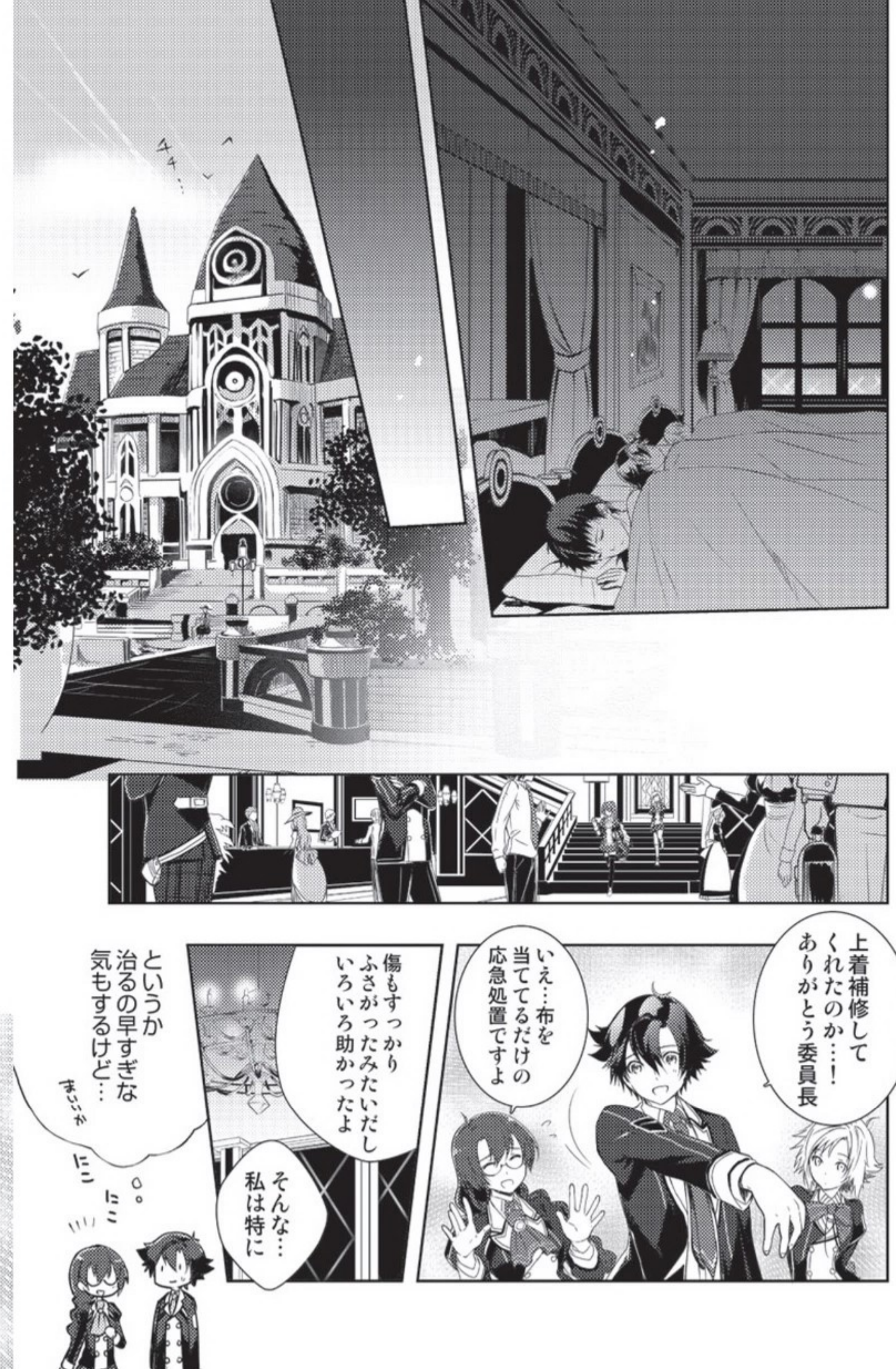
俺と兄の母親は違う
兄の母は貴族出身の正妻でいまだに存命している
俺の母は平民の出で…八年前に亡くなっている
……つまり俺は妾腹の息子というわけだ
その……昼間見て思ったけど
……そうだったのか
お兄さんと仲が良いのは本当なんだろう…？

まぁ悪くはないな
8年前に引き取られて以来ずっと良くしてもらっている
剣も作法も…兄から教えてもらったものだ
はは……だと思ったよ
……？
ユーシスの剣って…なんというか真っ直ぐな感じがするからな
よっぽど信頼できる人間から教わったんじゃなければ あんな風には身につかない…
昼間会った時になんとなく この人が教えたのかと思ってさ
！……

フン つくづくお前は貴族らしさがないようだな…
自覚してるよ…
昼間の傷はいいのか?
あぁ…もう痛みも感じない上に傷も完全にふさがってるみたいなんだ
そうか…
どうもお前は危ういところがあるようだな
え
入学式の日…
あの時 お前はなんの躊躇もなくアリサを庇うために行動したな?
ああいう時…
普通の人間ならば反射的に自分の身を守るはずだ
……
なのにお前はそうせずに他人の身を守ることを優先した
そう…今日 俺たちをとっさに庇った時と同じように
本来ならば誉められてしかるべき行動かもしれんが……
俺にはどうもそれが歪(いびつ)に見えてならない
…参ったな まさかそんな風に見抜かれるとは思わなかった…
お前が俺を見透かすようなことを言うからだ
だが―― お前のその在り方
ある意味“傲慢”であるのはお前自身もわかっているんだろう?

ああ……さすがにね
『自分の身も省みずに何が人助けじゃ未熟者が！』
そんな風に老師にも叱られたよ
そうか……
……
ふふ……
ははっ……
未熟者同士なのはお互い様というわけか
ああ…今日はもう寝よう
明日は朝からユーシス居ないんだよな その分頑張らないと…
用が済んだら合流する それまでせいぜい気張るといい

…おやすみユーシス
ああ…良い夢を
……


チチ…
上着補修してくれたのか…！ありがとう委員長
いえ…布を当ててるだけの応急処置ですよ
そんな…私は特に
傷もすっかりふさがったみたいだしいろいろ助かったよ
というか治るの早すぎな気もするけど…
まいいか
にこ
にこ

さて今日はどんな依頼を兄はまとめたことやら
――ユーシス・アルバレア
……なんだマキアス・レーグニッツ
……
ARCUS(アークス)の戦術リンク機能…
この実習の間に何としても成功させるぞ
！

いくら君相手とはいえ 他のメンバーが 出来ていることを 出来ないのは 不本意だからな
君の実家の用が 済んだら… 昨日のリベンジを するのはどうだ？
………
フッ
―やれやれ
カッ
……？
我らが 副委員長殿は 単純だな
カッ

大方 昨晩の話を 盗み聞きして 絆されたといった ところか？
なっ…!?
き…君の家の事情や リィンの話など
僕はこれっぽっち も――!
あ

マキアス…
ふふっ…
語るに落ちた
ぐうっ……
フフ…
いいだろう その話 乗ってやる
俺の方が上手く合わせてやるから大船に乗った気でいるがいい
そっ…それはこちらの台詞だ!
せいぜい寛大な心を持って君の傲慢さに合わせてやろう…!
ユーシス様 お迎えにあがりました
アルノーか
――行ってきたまえ
午前中は俺たちだけで進めておくよ
ふふ せっかくご家族にお会いできる機会ですしね♪
だね
お前たち……
――わかった 午後にはそちらに合流する
戻るぞ アルノー
それじゃあユーシス 昼くらいにホテルのロビーで
ああ 俺無しでは心許ないだろうがせいぜい頑張ってこなすがいい
だから なんでそう君は上からなんだ…
……
よし じゃあ 午前中はこのレストランの依頼というのから…
ふふ…
な なんだ…?
その何か言いたそうな顔は…

いや マキアスのおかげで 色々と良い方向に 行きそうだと 思ってさ
えらい えらい
なんだその 生暖かい 目は…！
そもそもリィン！
君との わだかまりだって まだ無くなった わけじゃ ないんだぞ…！
え？ そうなのか？
君は…
……
いや… すまなかった…
昨日のことも含め 君にはちゃんと 謝らせてくれ…
マキアス…
……
いや こちらこそ すまなかった
少なくとも 高貴な血は 流れていない
そういう意味では みんなと同じと 言えるかな
貴族のこと… 最初の時に曖昧な 言い方をした俺にも 非があったんだ
フッ…
改めて… 同じ《Ⅶ組》 メンバーとして これからよろしくな マキアス
ああ…！
ふふ おふたり共 よかった ですね
これぞ 青春って 感じ
ええい 茶化すんじゃ ない！
よし 出かけるか…
午後 ヤツが戻ったら 戦術リンク… 必ず成功させて みせる…！
そのまま 仲直りすれば いいのに…

そろそろお昼だな…
キリもいいですしホテルに戻ってみましょう
ユーシスさんがいるかもしれません
バタ
おい！止まれ！
なんだ…？
ザッ
ザッ
バタ
!?
領邦軍の兵士…？

士官学院1年…
マキアス・レーグニッツだな？
貴様を逮捕する
大人しくお縄に付いてもらうぞ
なに…？
絆が深まる《VII組》に突然の試練が――!?

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第9話
そら とっとと入れ
……くっ……
安心しろ 大人しくしていれば 危害は加えない
容疑が 晴れさえすれば いずれ解放 されるはずだ
……クソ 迂闊だった
父さんの立場を 考えたら充分 予想できたはず なのに……
待ってください！
いったい なんの容疑で…… 何かの間違いじゃ ありませんか!?
……
容疑は いくつも あるが……
最大のものは 昨日の午後の 《オーロックス砦》 への侵入罪だ
そ!! それって…!?
昨日サイレンが 聞こえた あの時か…？
銀色の物体を 目撃した時 の……？
冗談じゃない！ 昨日はずっと仲間と 一緒に行動して いたんだぞ!?
どうして僕ひとりが 疑われるんだ!?

その事は俺たちが証明できます！
それに……私たちの仲間である"ユーシス・アルバレア"さんも証明してくれると思います！
ざわ…
……
フン……
だからどうした？
あいつのカンが見事当たっちまったか
さて……レグラムからわざわざ出張ってきたはいいが
どうフォローしたもんかねぇ…？
チャラ
——やれやれ

アルバレア公爵家
ユーシス様
コンコン
ガチャ
そろそろ昼食の準備が整いますが…
ガサ
……
俺は昼には実習に戻ると言ったはずだ
ドキ
あ…その…
父上は
え
父上はどうしたと聞いている！

わい
わい
職人街 宿酒場
Inn Alouette
カチャ
カチャ
……
ぱく
ぱく
カチャ
……
はぁ――…
まさかホテルの部屋まで領邦軍に捜索されてるとはな
もく
もく
多分 昨日のうちから仕組まれていた段取りだろう ユーシスが実家に呼び出されたのも……
ユーシスさんがいたらマキアスさんの逮捕を止められる可能性があったから……
詰所でも全然話し聞いてくれなかったね
それっぽい
ユーシスも実家で動きを封じられてそう
あぁ ホテルに戻った様子もなかったし…間違いないだろうな

結局 マキアスが捕まったのは昨日の砦への侵入とは無関係……
革新派の有力人物であるレーグニッツ帝都知事の息子を拘束するのが狙いなんだろう
色々な取引に使えるカードを手元に置いておく意味で
で でもさすがに傷つけたりはしないですよね？
もぐ
ぱく
……どっかな
最悪 痛めつけるなりして脅迫される可能性はありそう
貴族派と革新派の対立はかなり深刻みたいだし
そんな……
!!
危険かもしれないが……
俺たちでなんとかしてみないか

……はい
さすがに放って
おけません
……
……ん
いいよ
ありがとう
ふたりとも
でも…
どうすれば
よいでしょうか
昨日会った
ルーファスさんは
頼れそうだけど…
今は帝都に
行ってるん
でしたね
ぺろ。
市内にある
詰所なら
まだ侵入できる
余地はある
フィ
フィーちゃん
……
でも……
…だったらもう
私たちで直接
奪還するしか
ないと思う
考えてもみて
もしマキアスが
昨日の砦にでも
移送されたら
奪還の可能性は
相当低くなるよ
……
よし――
腹を括るか
……はい
マキアスさんを
奪還するにしても
なるべく秘密裏が
いいですね
あくまで
こっそり侵入して
いつの間にか
いなくなって
いる……
そんな形なら
元々冤罪ですし
強く出られない
ないかと
そうだな……
領邦軍は面子を
重んじるらしいし
バリアハートから
脱出できれば
なんとか……
……なんだ
煙幕を使っての
派手な陽動は
ナシか
ズ
フィーちゃん
そんなもの
いつも持ってるん
ですか？
乙女の
たしなみ
絶対に
違うだろう……
――
なぁなぁ
マスター
地下水道の魔獣
最近はどんな
もんだい？

地下水道…？
あぁ お前が入ってから３ヶ月くらいは経ってるか
よく知らんがまたぞろ湧いてるんじゃないのか？
領邦軍も相変わらず放置してるみたいだからな
やれやれ 麗しの都の足元に魔獣が居るのを放置とはねぇ……
パタン
まそんな話が聞こえたら連絡してやるさ
サンキュー マスター 美味いエスプレッソまた期待してるぜ
チャラ
ガタッ
あぁ レグラムに戻る前にでもまた寄ってってくれ
ん？
……へぇ 珍しい格好だな
赤い制服……どこかの学生さんかい？
あ……はい トリスタにある《トールズ士官学院》の者です
へぇ あの有名な士官学校か
学院の実習でこちらの街に来ていまして
あの…さっきの地下水道の話なんですけど
ん？ あぁ…
バリアハートの地下には昔の水道が張り巡らされててな
魔獣も徘徊しているんだが以前は遊撃士が退治してたんだ
ここのギルドが畳まれちまってからは領邦軍が管理してるそうだが……わりと放置されてるみたいだな
……その地下水道ってどのくらいの広さ？
そうだな ちょうど…駅前のあたりから貴族街のあたりまでになるな
バリアハートはいい街だが色々面倒なところも多いからな
たっ
まその実習とやらせいぜい頑張るといい
そんじゃっ

Inn Alouette
……さっきの人 遊撃士なんだね
民間人の保護を第一とする大陸各地に支部を持つ団体……《支える籠手》の紋章を掲げる民間の使い手たちか
最近あまり見かけなくなりましたね
あぁ 紋章の入った手帳を持っていたな
思ったんだが俺たちのこの特別実習……
彼らの活動内容に似ている気がするな
あ……そういえば
でもタイミングよく手がかりが見つかったね
あぁ……貴族街まで通じる中世の広大な地下水道か
マキアスが捕まっている領邦軍の詰所にも繋がっている可能性は高そうだ
ええ 上手くいけばこっそりとマキアスさんを解放できそうです!
Artisan's Street

しかしまず地下への入口を探さないとな…
そうですね…
あら…?
エマさんじゃないですか? 奇遇ですね
えっ…? ドロテ部長!?
えっと確か……
エマの文芸部の部長だね
部長ここで何を…
あーあなたが週末に特別実習に行くって言ってたのはここの事だったのですね
私は取材です! こんな美しい街次回の創作の背景にもってこいじゃない!
街並みやら外壁やら服装やら……も～隅々まで調べまくりましたわ♪

取材？
創作？
ギクッ
あ～
そ そうでしたか…
あっ
そうだ部長！
街を隅々まで
調べたのでしたら…
え…？
よし
入口はここ
みたいだな
ん…
やっぱり鍵が
かかってるね
スッ
あ…じゃあ
私がやって
みますね
委員長？
ヘアピン
か…！
………
あはは……
前に読んだ
推理小説に
載っていた
コツを
覚えてて
ポゥ
ボンッ
(開け)
…Aperio.

バリアハート地下水道
意外と
綺麗な場所
ですね…
さすがは
《翡翠の都》の
地下といった所
でしょうか
目指すは西──
領邦軍の詰所に
通じる区画だな
しかし
ドロテ部長の
おかげで入口が
すぐ見つかって
助かったよ
小説って
どんなの
書いてるん
だろうな？
恋愛ものって
言ってたけど
リ！
リィンさんは
知らなくて
いいんです!!
言えない…
恋愛ものだけど
男の子しか
出てこない
なんて…！
ひーん
部長～
？？
──こんな
場所までわざわざ
入り込んでくる
とはな
あ……
ユーシス……！

よかったご無事でしたか!
フン…
まさか屋敷に戻るなり 行動の自由を奪われるとは思わなかったが……
なんとか抜けてきた次第だ
そうだったのか…
どんな状況か大体知ってるみたいだね?
あぁ
革新派を牽制するために帝都知事の息子に濡れ衣を着せて拘束する……
──結局
俺と話すつもりなど父には最初からなかったわけだ…
まさかそこまで露骨なことを父が企てるとはな
!……
ユーシスさん……
……まぁ 俺のことはいい
この地下水道の構造は兄から聞いて大体把握している
領邦軍の詰所まで先導するからとっとと行くぞ
ユーシスさん…
ひとりでマキアスさんのこと助けに行こうとしてたんですね?
先月の実習とは大違い
フン 父のやり方に納得いかなかっただけだ
それに 今頃ヤツも心細くてベソをかいているに違いない
それを目撃できるだけでも助けてやる価値はあるだろう
ふふっ…
やれやれ
ふぅ…にしてもここ梯子が多いですね
やっぱり胸が大きいと登りにくい?
ズバァン
フィっ…フィーちゃん…!
……

ここか……!
あぁ きっと どこかに――
き 君たちどうして ここに……!
! マキアスさん……!
フン 無事だったか
まさか 忍び込んできたのか!?
鍵か… さすがに委員長の ヘアピンでも 無理みたいだな
…下がってて
え――
《起爆》
イグニッション
!!っ……
なあぁっ…!?
爆薬…? そんな物を 持ち歩いて いるのか!?
携帯用の 高性能爆薬 可塑性もあるから こういった工作 には便利
君は一体何者 なんだ?
フィー… 普段の身体能力の 高さといい…

ーー士官学院に入る前 わたしは《猟兵団》にいた
爆薬も銃剣の扱い方もそこでぜんぶ教わった
ただ それだけ
一流の傭兵部隊… そうだったのか
ざわっ
《猟兵団》…!
信じられん… "死神"と同じ意味だぞ
わたし 死神?
!
あ……
いや… そうだな 名に囚われる愚は冒すまい
おい なんの音だ!?
時間がない! とにかく脱出しよう
ガタ ガタ ガタ
た…隊長!
牢の鍵が壊されています!
この場を凌げれば なんとか誤魔化せる はずだ
わ 分かった……!
なんだとぉ…? あの学生どもの仕業か…!
ーー獣どもを出せ!
あの生意気な学生どもを実戦テストの標的にしてくれる…!
なんとかマキアスを救出したリィン達に魔の手が迫る!!

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第10話
はぁ
たーっ
たっ
たっ
たっ
た
はぁ…
ウキキキキ
!?
なんだ…!? 地下牢の方から…!?
ひょっとしたら軍用に訓練された魔獣かも
ドド
ドド
あ 足音が…
ええ!?
来るぞ…!
敵2体…かなり大きいぞ!
走れ!!
なんて厄日だ…!
なっ
うわっ…!?

くっ…
ガルル…
囲まれたか…!
あくまで進路を塞ぐつもりですね
だったらこちらも遠慮なく撃破するだけ
あぁ…せいぜい躾けてやる
特別実習の総仕上げだ
士官学院《Ⅶ組》A班全力で目標を撃破する!
おおっ!!

パァ…
ARCUS駆動…!
きゃあ!
エマ!うしろ!
委員長!
ガルル…!
敵に背を向けるな!
でも…!こんな挟まれては…
2体同時に挟まれるのは厳しいか……どうすれば

レーグニッツ
俺の魔法で1体を足止めする
お前の銃でもう1体を誘導し…
2体を一箇所に集めればいいんだな
!
わかった…!
よしいくぞ!!
マキアスさんとユーシスさんの連携が…!
あぁこれは…

ARCUS駆動…!
戦術リンク…うまくいくかもしれない!
エアストライク!
くらえっ!!

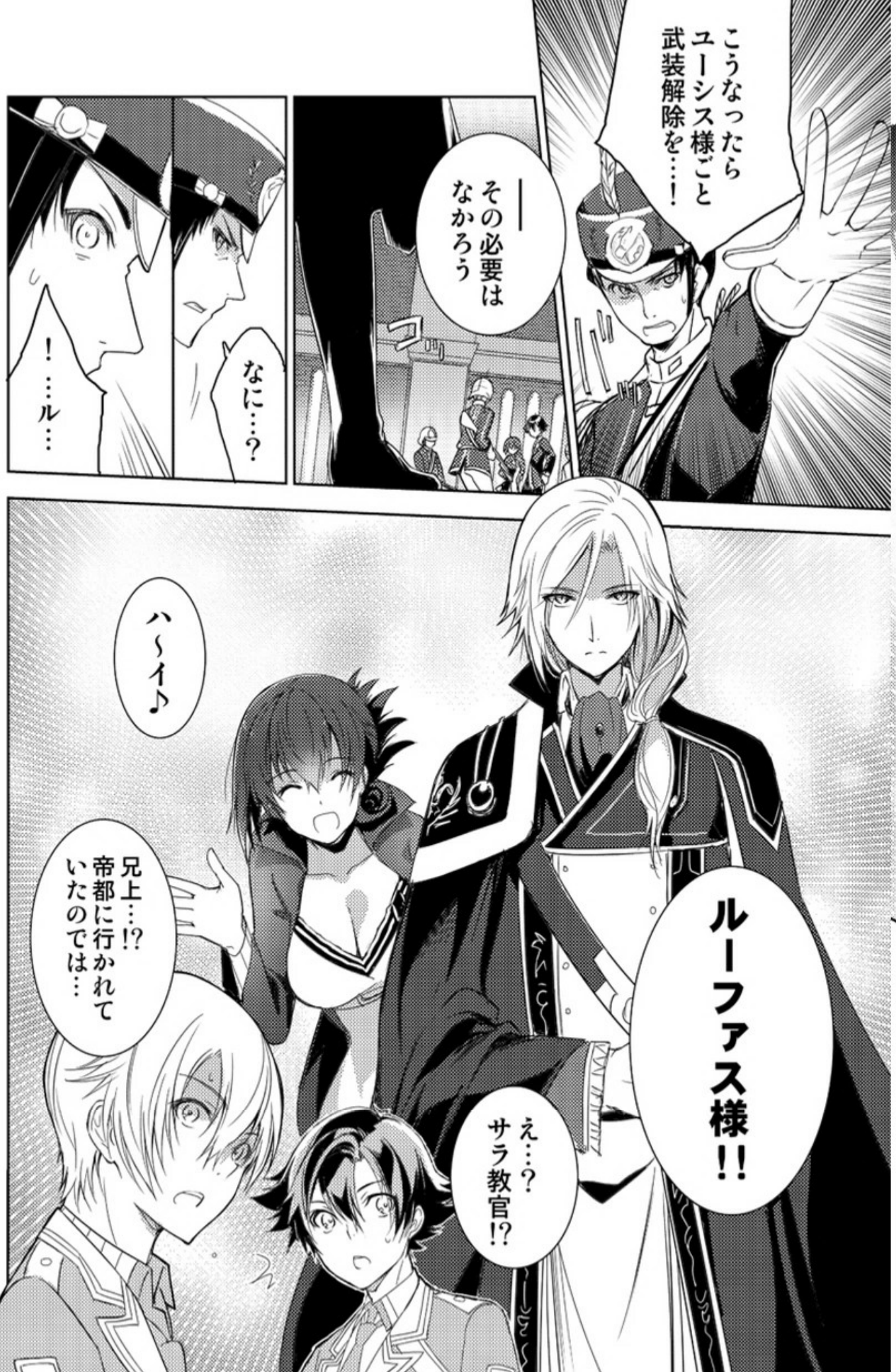
よしっ一箇所に集まったぞ！
さっきの魔法も効いているみたいだ
ユーシス！あとは頼んだ！
あぁ任せるがいい！
これで…
終わりだ！

クリスタル
セイバー!!!
はぁっ
はぁっ…
なんとか倒せたか…

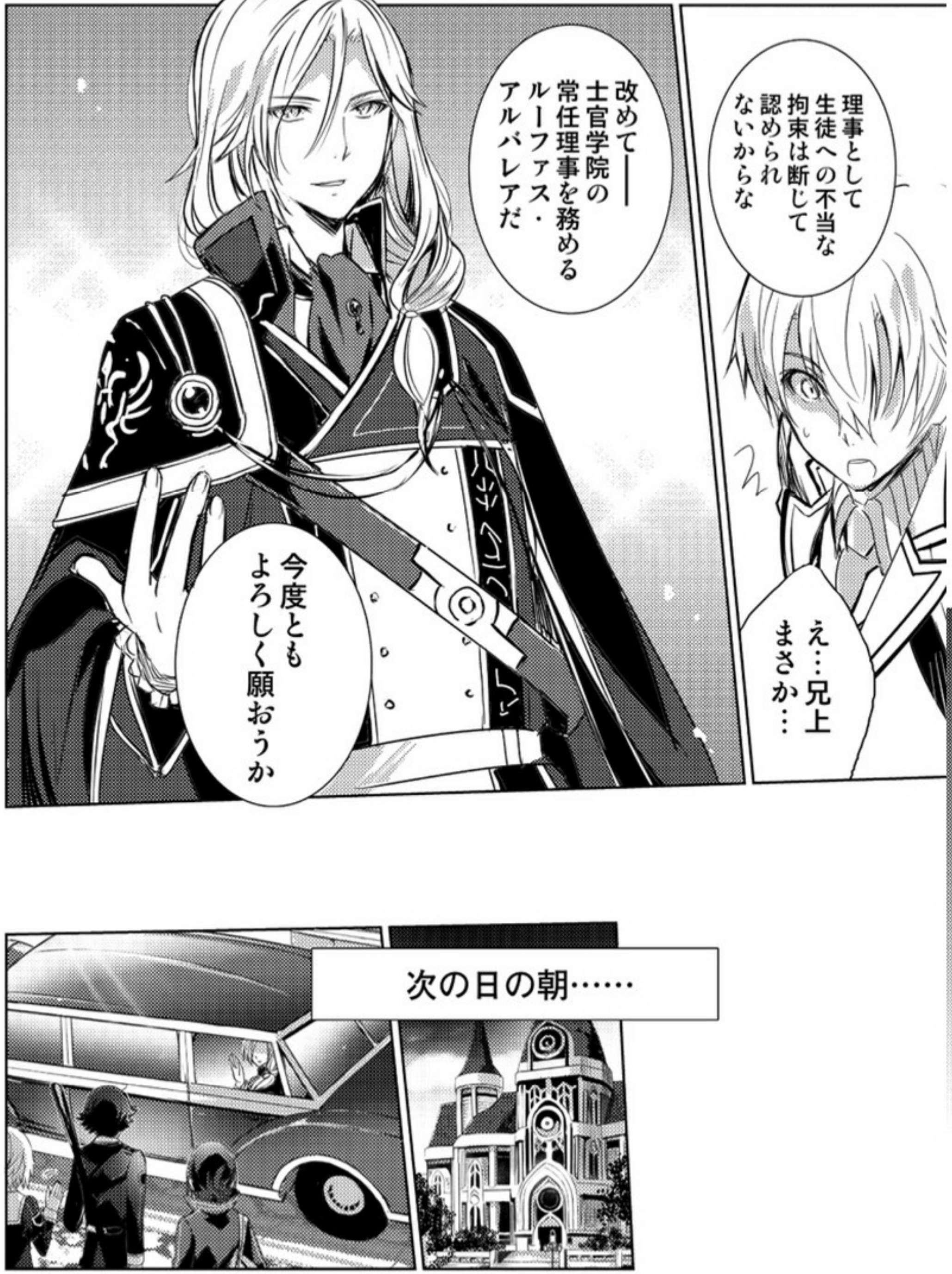
ふー…かなりの手応えだったね
さ さすがにもうダメかと思ったぞ……
フン…たかが獣ごときに遅れを取ってたまるか…
ふふっ…
はは…
まったく…笑いごとじゃないだろう
フン そういう貴様こそ何をニヤついている…?
き 君の方こそ……!
やれやれ
実習の仕上げとしては上々すぎるくらいだな……
ええ 戦術リンクも全員で繋げられましたし…
ピーーーッ
ダッ
ばたたばた
ばた ばた

待て貴様ら!!
ジャキッ
領邦軍…!
よくもふざけた真似を…!
レーグニッツだけでなく全員で捕まりたいらしいな!?
ギリッ
ザザッ
ああ……捕まえてもらおうか
あ……!!

ユ ユーシス様…どうしてここに…
フン 実習を再開しただけだ それよりもどうする？
こいつらを逮捕するならば俺も同罪という事になるが
そ それは…
いっ…いくらユーシス様でも軍事施設への無断侵入は許されるものでは…
ましてや勝手に容疑者を逃がすなど…！
いい加減にしろ
そりが合わないとはいえ同じクラスで学ぶ仲間――
その者があらぬ容疑をかけられ政争の道具に使われるなど…
このユーシス・アルバレア
見過ごせるとでも思ったか!?
ぐっ…


こうなったらユーシス様ごと武装解除を…！
――その必要はなかろう
なに…？
！ …ル…
ルーファス様!!
ハ～イ♪
兄上…!? 帝都に行かれていたのでは…
え…？ サラ教官!?

士官学院の方から昼過ぎに連絡が入ってね
それで急遽飛行艇でこちらに戻ってきたわけだ 君たちの教官殿と共に
どうやらお疲れ様だったみたいね～
うっ…
事情は一通り聞かせてもらった ここは私が引き取るゆえ卿らは戻るがいい
くっ…だ…第2中隊撤収!
どうして教官もここに…?
いや～実はとある筋から早めに連絡を貰ってね
急いで帝都にいた理事さんに連絡を取ったのよ
まさか私の留守中にあんな無茶を父が押し通すとはな…
それで帝都からの飛行艇に一緒に乗せてもらったってわけ
……理事?
相当頑なではあったが今回ばかりは引いてもらったよ


理事として生徒への不当な拘束は断じて認められないからな
え…兄上まさか…
改めて——士官学院の常任理事を務めるルーファス・アルバレアだ
今度ともよろしく願おうか
次の日の朝……

Station
Bareahard
ぞろ ぞろ
士官学院《Ⅶ組》……
ずいぶん危なっかしかったが何とかケリは付けられたか
まお前が拘る理由も分かる気がするぜ
──サラ
しかし 公爵家のルーファス・アルバレアか
貴族派随一の切れ者と噂されてるみたいだが…
何故こんな朝早くに峡谷方面に向かうのか…かね？
あんたは…？
フフ しがない下級貴族さ
君と同じくあの学院の子たちを温かい目で見守らせてもらった
へえ…
気のせいかもしれないがアンタ知り合いから聞いたある人物に似ている気がするな
フフ さてさて
何やら気取った“芸名”を持ってたりするんじゃないのか？
ちなみにその知り合い外国から来た初々しいカップルとは言わないだろうね？
…さてな
それでは遊撃士殿機会があればまた会おう
それと──《紫電(エクレール)》殿によろしく
……ったく
この面倒な状況で厄介なヤツが現れたな
念のため他の連中にも一通り連絡しておくかね…

ゴォォオ
ぐったり
……
ふわぁあっ…
ゴトン
ゴトン
やれやれ 若いのにだらしないわねぇ
一晩ちゃんと寝てるんだからもっとしゃきっとしなさい！
無茶言わないでくださいよ……さすがに今回は色々とありすぎましたから……
まぁそうね……
B班の方も革新派と貴族派のゴタゴタがあったみたいなのよね
そこまで深刻じゃなかったようだけど問題の質は同じと言えるわ
そうだったんですか…

それにしてもサラ
正直オーロックス砦は洒落になってなかったけど
そうみたいね
そして領邦軍だけじゃなくて正規軍も軍備を拡張してるわ
言うまでもなく革新派……
《鉄血宰相》が掌握している20もの機甲師団を中心にね
それは……
……
確か正規軍にも領邦軍にも卒業生は行っていますよね…？
士官学院は…私たちはどう振舞えばいいんでしょう
ま そこらへんは今は気にする必要ないわ

君たちはまだ 学ぶ立場にある
今回みたいに厄介で面倒な"現実"を少しずつ知りながら…
それでも"今"しか得られない"何か"を掴むことが出来るはずよ
かけがえのない仲間と一緒ならね
……
あ…
それは社会に出たら何の意味もない儚いものかもしれないけど……
どこかできっと君たちの血肉となり大切な財産となってくれると思う
少なくともあたしは…そう信じてる
サラ教官……

どっ
あははははっ…!
くっ…
ちょっとツボに来た…
すすみません…仰ってることはすごく感銘を受けたんですけど…
いつもの教官とのギャップがありすぎてど…どうにも…
なっ…? 皆なんで爆笑してるのよ!?
…やれやれ何を言い出すかと思えば
ちょっとクサすぎ

フッ
今しか得られない何か
そしてかけがえのない仲間と一緒なら…か
ちょ…っやめたまえ!
あはは
僕を悶え苦しませるつもりか!?
あはははは
ははははは
〜〜っ!
ああ! もう! せっかく良いこと言ったのに!
アンタたち思った以上に一筋縄じゃいかないわねぇっ!
ははは…
ゴトン
ゴトン…
ゴトン
スッ
ゴトン
……
力ずくで助け出す必要がなくなってよかったよ〜
ゴトン
ゴトン…
ふぇ〜ブジ帰ったかぁ
ニシシ…砦で見つかっちゃった時はどうしようかと思ったけど
PRR…
ピッ
もしもーし☆
こちら《白兎(ホワイトラビット)》♪
うんうん…いちおー何とかなったよ
まー細かいことはイイじゃん♪ちゃんとお仕事は終わらせたんだし
エヘン!

あ でも色々
面白いのはいたけど
"連中"の気配は
ゼンゼンなかったよ？
え ダミー情報!?
キミとオジサンの
裏をかいたの？
あはは、
すごいなぁー
結構やりがいの
ある相手だねっ！
ーボク？
これからクレアと
合流するけど
りょーかい
まったねーー！
"レクター"
…そういえば
『シカンガクイン』
だっけ？
なんだか
楽しそうで
いいなぁ…
ーガーちゃん
Ё'жёйа
そうそう
ここでの仕事は
終わりだよ
ぽすっ
行こっか……
《アガートラム》
動き出す様々な思惑ー
絆が深まるVII組を待ち受けるものとは……

―6月中旬
若葉の季節を過ぎたトリスタでは珍しく長雨が続いていた―
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
センノキセキ
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第11話
トールズ士官学院 技術棟
ギガッ
あ〜試験勉強だりぃ〜
もークロウくん!
すぐに単位ギリギリとかになっちゃうんだから!
2年の最初の試験から気を抜いちゃダメだよ?
へいへい…
失礼します
ガチャ
ジョルジュ先輩ちょっとARCUSの調子を見ていただきたいんですけど…
あっ…

リィンくん!
トワ会長…にクロウ先輩
リィンくんのおかげで生徒会のお手伝いすごく助かってるよ!いつもありがとう♪
ああ…いえそんな
ここで試験勉強ですか?
俺は今さらジタバタしたって意味ないと思うんだがなー
君は多少ジタバタした方がいいんじゃないかな…
あ よかったらリィンくんも一緒に勉強していく?
え?
1年のテスト範囲見てあげられるし
お姉さんにまかせて!

あ…では お願いします
俺 教室に 教科書取りに 行ってきますね
お姉さん か…
ん…
あの小さい体で 生徒会長なんだ もんな…
もし…
ザァア
雨の中 お呼び止めして 申し訳ありません
こちらの学院の 学院長室は その建物で 宜しいでしょうか?
あ…はい
本校舎の 1階右翼ですね 案内しましょうか?
ふふっ… ありがとう ございます
ですが そこまで お手を煩わせる わけには 参りません
ス…
それでは 失礼します ——リィン様
ザァア…
あれ… 今の人
?
俺の名前を 呼んでいた ような……?
そして迎えた トールズ士官学院・ 中間試験
4日間の試験日は あっという間に 過ぎていった

キンコン カンコーン
わーっ
やったー!! 試験終わりやー!!
さ バイトや バイト!
ベッキー 試験明けくらい ゆっくりしても いいんじゃないか……?
そんな甘いこと ゆうてたら 商売人失格やで ヒューゴ!
ほら リンデ! 急がないと 新作ケーキまた 売り切れちゃうよ!
ま まってよ ヴィヴィ～…
は～…
パァァ…
何ていうか 解放感に 満ちてるよねぇ
結果発表は 来週の水曜 だったわね
フフン 悪いが僕は 自信があるぞ エマ君の方は どうだ?
そ そうですね 悪くはないと 思います
むっ…
やめておけ 見苦しい…
そういえば サラ教官 これからどこに 行くんだろうね
ああ 明日までに 誰かと会う約束が あるってさっき 言ってたな
うーん 普通に考えれば 恋人と会うとか でしょうか?
信じられんな アレにそんなものが いるのか?
アレって……
明日は 自由行動日か～ リィンはどうするの?
そうだな 生徒会の手伝いと… 学院長の依頼の 旧校舎の調査を しないとな
そういえば ガイウスがさっき 学院長に呼ばれて いたみたいだが… 何の用だろうな
ラウラとフィーも 先に教室を出て 行っちゃったわね
せっかくだから みんなで帰ろうと 思ったんだけど…

……気のせいかもしれないけど
最近ラウラとフィーどこかぎこちなくないか？
！……
そ そうなの？
ふう…気付いてたんだ
その…お互い避けあってるような気がするんです
ひょっとしたら……
先月の特別実習での出来事をA班・B班で報告しあっただろう？
フィーが爆薬を使った話も…
うん フィーって学院に来る前に《猟兵団》にいたんだよね
確かにビックリしたけど……
それを話した時ラウラが一瞬だけ険しい顔になったような気がしたんだが…
う～ん どうしてでしょう…
フン 事情はそれぞれだろう
いまだ家名を明かさない人間もいるくらいだからな
ちょっ
ちょっと今ここでそれを言うの!?
別に他意はないが まあ お前の家名については大方予想できているからな
そ その勿体ぶってるわけじゃ…！
ただ あまり周りに知られると面倒な事になるかなって…
──お嬢様
お久しぶりです

……え
シャ
シャ
シャ
シャロン!?
どうして貴女がここに…!?
ふふっ 会長に申し付けられまして……
あっ… この間の……
初めまして――
アリサお嬢様のご実家《ラインフォルト家》の使用人として仕えさせていただいております
シャロン・クルーガーと申します
今日から皆様の第三学生寮管理人を務めさせていただきます
にこ
次の日の朝――
うわ～っ!

これは見事だな
どれも美味しそう
これが帝国風(インペリアル)ブレックファースト…
ふむ 私の実家で出されるより遥かに彩りも豪華なくらいだ
ふふっ ありがとうございます
コーヒー 紅茶共に揃えていますので遠慮なくおっしゃってくださいね
むすー
ガタ…
おーん
ヒソ
さすがにご機嫌斜めだな…
うーん… ゆうべは揉めてたみたいだからね…
せっかく実家を離れたのに母様の思い通りになってたまるもんですか!
まあまあ アリサ様 会長も別にお目付け役としてわたくしを派遣されたのではないと思いますわ
ひとえに愛するお嬢様に日々のご不便がないように——
もういいわ! こうなったら母様に直接交渉する!
ラインフォルトの本社ビル!? それともどこかに視察!?
本日は帝都で鉄道省総裁とご会食だったかと
そのまま各地を回られて本社にお戻りになるのは5日後ですね
ああもう 相変わらず仕事の鬼っていうか…
と とにかく認めない!
はっ
絶対に認めないいんだからあっ…!
ゴソ…
それにしても"R"が《ラインフォルト》だったなんてね

僕たちが使っているこのARCUSもラインフォルト社製なんだよね…
REIN FORD
しかもお母さんが会長ってことは会社のオーナーって事でしょ？
ああ 大陸最大の巨大工業メーカーか下手をすれば大貴族よりも遥かに資産家…
とにかく
私はあくまで反対だから
母様の方にシャロンが付いていた方が…
べ 別に気にかけてなんか！
ふふっ 離れていてもお母様のことを気にかけていらっしゃるんですね？
あ お嬢様
大好物のアプリコットジャムをたくさん作ってきましたわ
せっかくですからシャロンがトーストにお塗りしましょうか？
え ホント!?

……はっ
……
!……
だ だから子供扱いしないでってば！
そのジャムはいただくけど…
な なんというか微笑ましいな…
午後 旧校舎調査――

ふー ここで行き止まりみたいだね
はぁ はぁ
驚いたな…オリエンテーリングの時とずいぶん内装が変化しているが…
先月から地下へ降りる昇降機が現れたって聴いてはいたけどびっくりしたよ…
この建物どうなってるの?
ここは第三層だったか…階層の奥にはいつも強敵…主がいるみたいだな
よし 現時点で探索できるのはここまでみたいだし…
そうね 学院長に報告に行きましょう
ふむ…さらなる地下へと降りる昇降機か…

旧校舎はまだまだ地下に続いているようでした
今は"第三層"より下へは行けないようですが…
それも謎よね…先月は第二層まで行けたのよね
一ヶ月ごとに行ける階層が増えてるみたいだけど
結局 あの旧校舎って地下何層くらいまで続いているんですか?
いや そもそも更なる地下が存在するなどここ数十年で聞いたことがない
4月までは確かにオリエンテーションを行った階層しか無かったはずじゃ
存在しないはずのものが突然現れたことになるのか……
しかも昇降機なんてあからさまな移動手段が用意された上でだ いくら《暗黒時代》の遺跡とはいえ どうにも不可解すぎるな
…もしかしたら
かの《ドライケルス大帝》に関係あるかもしれんのう
!

あの《獅子心皇帝》に…？
うむ
学院が設立されてから代々の学院長には大帝からの“ある言葉”が伝えられておる
あの建物—— 旧校舎を“来たる日”までしかと保存するようにとな
き“来たる日”…？
その言葉の意味する所はいまだにわかってはおらん
250年前の《獅子戦役》そして《聖女サンドロット》にまつわる話だという説もあるがのう
《聖女サンドロット》……！
《槍の聖女》リアンヌ・サンドロット——
《獅子戦役》の時代大帝と共に『鉄騎隊』を率いて戦場を駆け抜けた救国の武人
七耀教会にも聖女として認定されていると聞く…

帝国人なら誰もが知っている歴史上の有名人だな
確かに《聖女》には様々な伝承やミステリアスなエピソードがありますけど…
それもあの旧校舎に関係があるということですか？
確かなことは言えんがのう
だが最近になって起き始めた異変…
かの大帝の言葉がまったくの無関係とも思えんじゃろう…
さてこれで生徒会の仕事も一段落したし寮に戻るか

それにしても
学院長の
言っていた
"来たる日"…
ゴッ
一体何のこと
なんだろう…
サラ教官
お疲れさまです
あらリィン
そちらこそ
お疲れさま♪
その調子だと
今日も生徒会の手伝い
頑張っちゃってた
みたいね♥
まったく
トヴァルのやつ
えらくコキ使って
くれちゃって……
あ…
ガチャ
――お帰り
なさいませ
リィン様
それにサラ様
初めまして
ラインフォルト家
より参った
メイドのシャロンで
ございます
……
ああ…
聞いてはいるわ…
これはご丁寧に
ひとつ質問
なんだけど…

初め・・・まして
だったかしら?
いえ
初対面なのは
間違いないかと
存じます
よろしくお願い
いたします
サラ・
バレスタイン様
ええ こちらこそ
シャロン・
クルーガーさん
ゴゴゴ
あっ…
これは
な…
何だか
知らないけど
邪魔しちゃ
悪そうだな
郵便受け
見てこよう
逃っ
エリゼ……
Elise Schwarzer

201
——兄様
どうかご心配なく
私の方といえば 日々つつがなく暮らしております
いまだに淑女には程遠いとはいえ
友人にも恵まれ 楽しく充実した生活を
送らせてもらっています
それよりも…
ご自分の学院生活のことをどうか第一に考えてください
《トールズ士官学院》といえば
ドライケルス帝ゆかりの名門……
ですが軍の士官である以上
危険な演習などもあると聞きます
どうか自分を顧みないような
無茶だけは決してなさらぬよう——
エリゼ・シュバルツアー
はは 相変わらずだな エリゼは
いや… この場合は 俺が相変わらずなだけか

カタ、
……
っ……

……っ!
ハッ
……
コト。
──返事書かなくちゃな
父さんと母さんにも…
カチッ
──皆さんこんばんは毎度おなじみミスティです

帝都近郊《トリスタ放送》より6月20日の夜9時をお知らせします
《アーベントタイム》のお時間です
さて6月下旬──帝国各地では《夏至祭》で盛り上がっている所も多いのではないでしょうか?
《紺碧の海都》オルディスでは湾内を無数の篝火が埋め尽くすという幻想的な光景が…
……
中間試験結果発表日──
わい
わい
わい
なっ…!?
あ あはは…

Midterm Examination
1 エマ・ミルスティン 1-Ⅶ 975pts.
1 マキアス・レーグニッツ 1-Ⅶ 975pts.
3 ユーシス・アルバレア 1-Ⅶ 952pts.
4 パトリック・ハイアームズ 1-Ⅰ 941pts.
5 ベリル 1-Ⅲ 940pts.
6 ブリジット 1-Ⅱ 936pts.
7 リィン・シュヴァルツァー 1-Ⅶ 932pts.
8 アリサ・ラインフォルト 1-Ⅶ 924pts.
9 フェリス・フロラルド 1-Ⅰ 918pts.
10 ヒューゴ・クライスト 1-Ⅲ 916pts.
11 *********** 1-Ⅰ ***pts.
12 リンデ 1-Ⅳ 910pts.
13 ロジーヌ 1-Ⅴ 908pts.
14 *********** 1-Ⅰ
15 *********** 1-Ⅰ
16 *********** 1-Ⅱ
17 ラウラ・S・アルゼイド 1-Ⅶ
18 *********** 1-Ⅲ
19 ***********
20 ガイウス・ウォーゼル
委員長とマキアスが同点1位…！
さすがだなマキアス
ああ…何というかさすがだなエマ君
いえいえお互い頑張った結果だと思います
僕も思ったよりは良くて安心したよ リィンも10位以内だなんてすごいや！
みんなで教え合いながら勉強したおかげだな
36位
……ちょっと疎外感
そんなことないわ 基礎学力のことを考えると十分すぎるほどの結果よ！
72位
ん……
あ あれ…
クラス別順位表…？
Average mark
1st 1-Ⅶ 878pts.
2nd 1-Ⅰ 843pts.
3rd 1-Ⅲ 770pts.
4th 1-Ⅱ 735pts.
5th 1-Ⅳ 675pts.
6th 1-Ⅴ 650pts.

ほう 我らⅦ組が首位か
フン 俺が属するクラスが負けることなどあり得んがな
だから君はなんでそんなにも偉そうなんだ…
……いや 実際みんな頑張っただろう
ああ 誇ってもいいと思う
Vだね
わい わい
……
午後——実技テスト
いや〜 中間試験みんな頑張ったじゃないの！
これでイヤミな教頭のハナをあかしてやったってもんよ♪

じゃ早速 今月の実技テストを 始めるとしましょうか
今回の相手よ♪
これは… バリアハートの 峡谷道で空を 飛んでた…!
気付いた? アレに素材の 雰囲気が 近い気がする
ひょっと したら…
どうしたのだ?
……
I組の…?
別に… こっちのこと
フン… 面白そうなことを してるじゃないか
あ… 四大名門の …!
パトリック・T・ハイアームズ…
困ったな…
き 貴族クラスが 何の用だ…!?
どうしたの 君たち?
I組の 武術教練は明日の はずだったけど
いえ トマス教官の 授業がちょうど 自習となりましてね
せっかくだから クラス間の“交流”を しに参上しました
最近 目覚しい活躍をしている 《VII組》の諸君相手にね…
突然のクラス間“交流”とは——!?

そ それって……!
得物…練習試合ということか…?
フッ そのカラクリも結構だがたまには人間相手もいいだろう?
真の帝国貴族の気風を君たちに示してあげるためにも
僕たち貴族クラス《I組》の代表が君たちの相手を務めてあげよう
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第12話
真の帝国貴族の気風か…
随分挑発的じゃない
……
ふ～ん なかなか面白そうじゃない
教官!

──実技テストの内容を変更!
《I組》と《VII組》の模擬戦とする! リィン── 3名を選びなさい!
ばっ
じゃ…じゃあ エリオットに ユーシス…
む……
彼は本来《I組》に所属していたはずの人間だ
帝国貴族の気風を示すという 僕たちの趣旨にも反するだろう …悪いが遠慮してもらおうか
フン 細かいことを…
公爵家の御曹司を相手にするのは避けたいみたいね
ジャキ
あの高慢ちきな鼻絶対にへし折ってやる……!
とにかく全力を尽くそう
ドキ ドキ
…決まりね では これより I組とVII組の代表による模擬戦を開始する

──始め！
エコーズビート！
！
うわぁっ
は疾いよ～！
ぬっ
エリオットは下がっていてくれ
ガイウス！
うっ…
！
ゲイルスティング！
わっ…！？
ぐっ…
…ったく情けないな
貴族が格の違いを見せられなくてどうする…！
パトリック・ハイアームズ…英才教育を受けていると聞いたが…
リィン！頑張って！

ジャキッ
ガチッ
!!
リィン！
フラ
しまっ……
ザザザ
紅葉斬り!!
今だ！
っ……
な……
ドッ
そこまで！勝者《Ⅶ組》代表！
わっ
チャキ
ザワ
ば　馬鹿な…
この僕が…
こんな寄せ集めどもに…
ザッ
パトリック
！

いい勝負だった
あやうく押し切られるところだった
機会があればまた——
触るなっ！下郎が!!
いい気になるなよ……リィン・シュバルツァー……
ユミルの領主が拾った…
出自も知れぬ“浮浪児”ごときが！
おい…
貴方…！
ひ酷いよ…！
他の者も同じだ！
何が同点首位だ！貴様ら平民ごときがいい気になるんじゃない！
なにっ…!?
ラインフォルト!? 所詮は成り上がりの武器商人風情だろうが！

おまけに蛮族や猟兵上がりの小娘まで混じっているとは…！
……
否定はしない…けど…
酷い…です…
パ パトリックさん……さすがに言いすぎでは…
うるさい！僕に意見するつもりか!?
…聞くに堪えんな
おい いい加減に——
——よく分からないが 貴族というのはそんなに立派なものなのか？
っ…!?
そちらの指摘通り オレは外から来た「蛮族」だ
故郷に身分はなかったため いまだに実感が湧かないんだが…

貴族は何をもって立派なのか
なっ…
き 決まっているだろう！
貴族とは伝統であり家柄だ！
平民ごときには決して真似できない気品と誇り高さ… それが僕たち貴族の価値だ！
説明してもらえないだろうか
なるほど…
それさえあれば先ほどのような言い方も許されるという事なのだろうか？
ぐっ…
こ このあたりで……
パ パトリックさん……
——ふふっ なかなか良い問題提起ね

模擬戦は以上
明日の武術教練は今日の模擬戦の反省にするわ
あと 自習中だからといって勝手に教室から出ないように
……
——失礼する
パトリックさん…!
ま 待ってください!
ばた ばた
……
まったくこれだから貴族というのは…
あれと一緒にするな…
…すまないガイウス
礼を言われることか?
まあ お前の役に立ったとしたら何よりだ
何というか…色々と助けられたよ
……
……ああ
ありがとう
今回の実技テストは以上!
それじゃ早速今月の《実習地》を発表するわよ♪
特別実習1日目——
ヘイムダル中央駅 構内
——しかし驚いたよ
まさかガイウスの故郷…
《ノルド高原》が実習地に選ばれるなんてな
ちょっと遠いけどガイウスの実家に泊まるなんて楽しみだね
そうだな遊牧民の家か…
【6月特別実習】
A班
リィン・アリサ・エマ
ユーシス・ガイウス
(実習地:ノルド高原)
《ブリオニア島》…帝国西部の外れにある島か
そういえば僕 海って見るの初めてなんだよね!
ああ 古代文明の遺跡で有名だったはずだ
わたしはあるけど
B班
マキアス・エリオット
ラウラ・フィー
(実習地:ブリオニア島)

何だか自信がなくなってきた…
……。
ちょ ちょっと! あきらめるの早すぎない?
何よりもA班 B班共に全員無事に戻ってくること…
それが重要だろう
そ そうだな…
それじゃあ ここでお別れだな
B班が向かうのは西… 海都オルディス方面の路線か
俺たちA班は北東… 鋼都ルーレ方面の路線になるな
ザワ
ザワ
フィーちゃん ラウラさん どうかお気をつけて
お互い元気な顔で再会できるようにしましょ
…そうだな
……ん
カツ
ほう そうなのか?
ん 団の上陸作戦についていった時に
!
ぷいっ
……
しーん
そっ そういえばラウラ
君の故郷の《レグラム》にも遺跡があるんじゃなかったか?
ああ… 《ローエングリン城》だ 街から見える湖に面した壮観な古城でな
確か《聖女のお城》だっけ? 見てみたいなぁ!
んー…
腕のいい狙撃手に陣取られたらやっかいそうな場所だね
!!
……
つーん
ずーん
うーん B班 早速苦戦してるな…
なさけない…
フン 思った通りか
つか
つか
つか

ザワ
あら…？どうしたのエリゼ
え……
ザワ
ひょっとしてカッコイイ男の人でもいた？貴女のお兄さんみたいな♥
まっ…またそんな…
その 知り合いに似た人を見かけただけです
見間違いだとは思うのですが…
ふぅん…それはそうと
否定しないんだ？貴女のお兄さんがカッコイイってことは♥
!
も もう…知りません！まったく姫様は…
うそうそ怒らないで
クスクス…
す すみません クレア大尉
ふふ とんでもありません
まもなく離宮行きの特別列車が到着いたします
今日一日お共をさせて頂くのでどうかよろしくお願いします
昼 ルーレ駅
ルーレ…《黒銀の鋼都》かこちらに来るのは初めてだな
次は貨物列車に乗り換えて終点の《ゼンダー門》までか
向こうに着くのは4時頃…結構 長旅だな
ここはアリサさんのご実家ラインフォルト社があるんですよね
あ じゃあ あそこでお昼を買っていきましょうか♪
ああ そうだな
……

いえ——
それには
及びませんわ
へ——
えっ…?
シャロンさん…!?
ど
ど
ど…
どうして貴女が
先回りしてる
のよっ!?
それはもう
お嬢様への愛が
為せる業と
言いますか…
朝食の
サンドイッチとは違い
お昼は腕によりを
かけたお弁当を
用意いたしました
フッ
ラインフォルト家の
メイドは主人を驚かせる
のが趣味らしい
おおかた帝都で
定期飛行船に
乗り込んだといった
ところだろう
ふふっ
そうで
ございます♪

そ そこまで
して…
まったく このまま
ノルド高原まで
ついてくるつもりじゃ
ないでしょうね?
いえ 実は
この後…
——私の仕事の
手伝いをしてもらう
ことになったのよ
え……
母様
!?
か…

えっ…？
久しいわね アリサ
そして そちらが 《Ⅶ組》の面々 というわけね
アリサの母 イリーナです
ラインフォルト グループの会長を 務めているわ よろしくお願い するわね
こ こちらこそ…
初めまして…
まあ せいぜい 不肖の娘と仲良くして やってちょうだい
仕事があるので これで失礼させて もらうわ
シャロン 行くわよ
かしこまりました
……いっ…
いい加減にして!!
いつもいつも そうやって 仕事ばかりを 最優先して…!
勝手に家から 飛び出した娘に 何か一言ぐらいは ないわけ!?
アリサ…
……
あなた自身の 人生…… 好きに生きれば いいでしょう
ラインフォルトを 継ぐことを強制する 気もないわ
あの人のように 勝手気ままに 生きるのも 悪くはないでしょう
っ……!

それに貴女の学院生活も最低限のことは把握してるわ
それと《Ⅶ組》の運用レポートについても
・・・・・・学院からの月ごとの報告でね
……え?
ああ
言ってなかったかしら
《トールズ士官学院》──貴女たちの学院の常任理事を務めさせてもらっているから

……
アリサさん…
だまされた…
せっかく家を出たと思ったのに…
まさかあの人が理事をしている学院だったなんて!
なんでもっと調べなかったのよ〜!
ああもうバカバカ!
ユーシスのお兄さんルーファスさんと同じか
ああ 理事は3人いると聞いている

ふむ…
そこまで嫌がることか？
その…
色々あるのよ
昔から
仕事人間のくせに
私には変に
干渉してきて…
口では好きにしろとか
言いつつ 今回みたいに
手を回してきて…
フン――
いいじゃないか
その程度の
干渉くらい
ありがたく思う
べきだろう
なっ……!?
あの場に現れて
俺たちに挨拶しただけ
まだマシというものだ
挨拶は無用だ
――完全な
無視よりはな
あ…
ユーシス
さん…
……
つまらん事を
言ったようだ

ゴオオ…
どうやら
最後のトンネルも
終わりのようだな
わぁ…
皆 長旅
ご苦労だったな
もうすぐ
《ノルド高原》だ
ゴトン
ゴトン…
舞台は北東、遊牧民の地へ！